

A 2 班：研究成果公表状況（2005 年 3 月時点）

1．著書・編著

- 鴫田忠彦編著『日本の医療改革』東洋経済新報社、2004 年。
鴫田忠彦・近藤健文編『ヘルスリサーチの新展開』東洋経済新報社、2003 年 11 月。
佐藤主光・田近栄治・鴫田忠彦編『医療と介護の世代間格差とその是正』東洋経済新報社、2005 年（近刊）。
小椋正立・D. ワイズ編著『日米比較 医療制度改革』日本経済新聞社、2002 年。
Ogura, S., Tachibanaki, T. and Wise, D., eds., *Labor Markets and Firm Benefit Policies in Japan and the United States*, University of Chicago Press, 2003.
南部鶴彦編著『医薬品産業組織論』東京大学出版会、2002 年。
山崎泰彦・高木安雄・尾形裕也・増田雅暢著『福祉キーワードシリーズ：社会保障』中央法規社、2004 年 9 月。
尾形裕也・山崎泰彦編著『医療制度改革と保険者機能』東洋経済新報社、2003 年。

2．論文（* はレフェリーつき）

2000 年度分

- *鴫田・山田・山本・泉田・今野「縦覧点検データによる医療需給の決定要因の分析 国民健康保険 4 道県について」『経済研究』51(4)、2000 年、pp.289-300。
*尾形裕也「保険者機能に関する考察」『季刊社会保障研究』36(1)、2000 年 6 月。
*尾形裕也「介護保険制度をめぐる諸問題」『季刊社会保障研究』36(2)、2000 年 9 月。

2001 年度分

- *Mitsui, K. & Sato, M. “Ex Ante Free Mobility, Ex Post Immobility, and Time Consistency in a Federal System,” *Journal of Public Economics*, 82(3), 2001, pp.445-460 .
佐藤主光「ソフトな予算制約と税源委譲の経済効果」『現代経済学の潮流 2001』東洋経済新報社、2001 年、pp.71-110。
*鴫田忠彦「日本の医療政策 - 公共経済学的側面 - 」『経済研究』52(3)、2001 年、pp.205-219。
*尾形裕也「「保険者機能」論の位置付け：わが国の医療制度改革に対する示唆」『海外社会保障研究』136、2001 年、pp.72-81。
*尾形裕也「日本とカナダの医療保険制度改革：共通の課題と多様性」『海外社会保障研究』139、2001 年、pp.14-26。
*尾形裕也「わが国の医療提供体制の改革と病院経営」『医療と社会』12(1)、2001 年、pp.3-15。
尾形裕也「医療制度改革と病院経営」『Japanese Medicine』連載 2001 年 11 月 - 12 月。
田近栄治・菊池潤「日本の医療保険 - 保険者財政と医療債務の将来推計」『一橋論叢』126(6)、2001 年、pp.637-655。
田近栄治・油井雄二「介護保険導入一年で何が起きたか - 北海道東部三市町村のケース(上)」『健康保険』55(10)、2001 年、pp.40-47。
田近栄治・油井雄二「介護保険導入一年で何が起きたか - 北海道東部三市町村のケース(下)」

『健康保険』55(11), 2001年, pp.60-70.

田近栄治・油井雄二・佐藤主光「地方交付税の何が問題か - 緩む地方の財政規律と阻害される財政改善努力」『税経通信』56(12), 2001年, pp.23-33.

田近栄治・油井雄二・佐藤主光「地方交付税の改革をどう進めるか - 線型移転制度の提案」『税経通信』56(13), 2001年, pp.25-43.

佐藤主光「地方自主財源の拡充と財政責任の確立 - 共有税の構想」『エコノミクス』4, 2001年, pp.164-179.

2002年度分

山下耕治・赤井伸郎・佐藤主光「地方交付税制度に潜むインセンティブ効果 - フロンティア費用関数によるソフトな予算制約問題の検証」『フィナンシャル・レビュー』61, 2002年, pp.120-145.

鈴木亘「所得代替率50%が不信再燃の火種となる」朝日新聞『論座』2003年3月号。

尾形裕也「21世紀の医療供給体制」『月刊薬事臨時増刊』時報, 2002年, pp.775-780.

Ogata, Y. "Purely Funded and Privately Delivered: A Comparative Study on the Healthcare Reform in Japan and Canada," Canadian Embassy, 2002, pp.98-115.

*Hiroya Ogata, Health Care Reforms in Japan and Canada, Web Journal of National Institute of Population and Social Security Research, 2002.

*尾形裕也「OECD諸国における医療制度改革の動向」『医療と社会』12(2), 2002年, pp.79-106

尾形裕也「保険者と医療機関の直接契約に関する考察」『月刊保険診療』2002年12月号。

尾形裕也「医療制度改革と保険者の役割」マックス・プランク研究所編『社会保険システム改革』ベルリン日独センター, 2003年。

*尾形裕也「社会保険医療制度の国際比較(収斂と発散)」『海外社会保障研究』145, 2003年, pp.2-13.

尾形裕也「医療提供体制改革の基本的方向」『社会保険旬報』No.2158, 2003年1月。

*Sato, M. "Intergovernmental Transfers, Governance Structure and Fiscal Decentralization" *Japanese Economic Review*, 53(1), 2002, pp.55-76.

*増原・今野・比佐・鶴田「医療保険と患者の受診行動 - 国民健康保険と組合健康保険のレセプトによる分析 - 」『季刊社会保障研究』38(1), 2002年, pp.4-13.

*鶴田・細谷・林・熊本「レセプトデータによる医療費改定の分析」『経済研究』53(3), 2002年, pp.226-235.

*細谷・林・今野・鶴田「医療費格差と診療行為の標準化: 腎不全レセプトデータを用いた比較分析」『医療と社会』12(2), 2002年, pp.121-137.

Tokita, T. "The Prospects for Reform of the Japanese Healthcare System," *Pharmacoeconomics*, Vol.20, Suppl.3, 2002, pp.55-66.

2003年度分

尾形裕也「医療制度改革と中小病院経営」『WAM』, 2003年11月。

尾形裕也「病床区分の届出状況と医療提供体制の展望」『健康保険』2003年12月号。

佐藤主光「保険者機能と管理競争」国立社会保障人口問題研究所編『選択の時代の社会保障』第10章, 東京大学出版会, 2003年, pp.207-229.

- *Sato, M., Marchand, M. & Schokkaert, E., “Prior health expenditures and risk sharing with insurers competing on quality,” *Rand Journal of Economics*, 34(4), 2003, pp.647-669.
- * Sato, M., Boadway, R. & Marchand, M., “An Optimal Contract Approach to Hospital Financing” *Journal of Health Economics*, 23(1), 2004, pp.85-110.
- *齋藤裕美・鴫田忠彦「混合診療をめぐる一考察～効率性と公平性～」『医療と社会』13(2), 2003年, pp.153-168.
- *周燕飛・鈴木亘「訪問介護市場における市場集中度と効率性、サービスの質」『日本経済研究』Vol.49, 2003, pp.136-148.
- 鈴木亘「GISを用いたホームレスの生活圏分析と都市政策」山崎福寿・浅田義久編『都市再生の経済分析』東洋経済新報社, 2003年4月, pp.181-201.
- 鈴木亘・湯田道生・川崎一泰「人口予測の不確実性と年金財政：モンテカルロシミュレーションを用いた人口予測の信頼区間算出と年金財政収支への影響」『会計検査研究』Vol.28, 2003年9月, pp.101-112.
- *田近栄治・菊池潤「介護保険財政の展開—居宅給付費増大の要因—」『季刊社会保障研究』39(2), 2003年, pp.174-188.
- *田近栄治・菊池潤「日本の医療保険改革と「管理された競争」」『季刊社会保障研究』39(3), 2003年, pp.306-321.
- 田近栄治・菊池潤「医療保険改革と個人の選択」国立社会保障人口問題研究所編『選択の時代の社会保障』第9章、東京大学出版会、2003年、pp.185-206.
- 田近栄治・油井雄二「介護保険の現状と改革—財政の観点から—」国立社会保障人口問題研究所編『選択の時代の社会保障』第15章、東京大学出版会、2003年、pp.185-206.
- *田近栄治・古谷泉生「税制改革のマイクロシミュレーション分析」『現代経済学の潮流 2003』第7章、2003年、東洋経済新報社、pp.207--226.
- 田中耕太郎「ドイツ：リスク構造調整をめぐる動きと新たな医療費抑制策」『けんぼれん海外情報』No.58, 2003.
- Tanaka, K., “Das Japanische Rentenversicherungs system im Wandel,” *Die ANGESTellten VERSicherung*, 50(2), 2003.
- *知野哲朗「高齢者入院医療費の道府県別格差とその決定要因」『医療と社会』13(1), 2003年, pp.67-81.
- 知野哲朗「高齢者医療費、診療報酬制度および私的医療機関」『会計検査研究』28, 2003年, pp.217-232.
- 知野哲朗・杉野誠「高齢者医療費の格差とその経済的含意」『経済学会雑誌(岡山大学)』36(25), 2004年.
- Tsuji, S. & Suzuki, W., “The Application of CVM for Assessing the tele-health system: An Analysis of the Discrepancy between WTP and WTA Based on Survey Data,” 2003, September, pp.494-506.
- *林行成・山田玲良「混合診療禁止制度に関する経済理論的考察」『医療と社会』13(3), 2003年, pp.73-85.
- *Hosoya, K., “Tax Financed Government Health Expenditure and Growth with Capital Deepening Externality” *Economics Bulletin*, 5(14), 2003, pp.1-10.
- *八代尚宏・鈴木玲子・鈴木亘「1990年代の医療制度改革の評価」『日本経済研究』Vol.49,

2003年, pp.1-37.

- *田中耕太郎「ドイツの医療保険制度改革」『海外社会保障研究』145、2003年、pp.14-25。
田中耕太郎「ドイツの年金制度」『法律時報』2004年。

2004年度分

尾形裕也「高齢者医療制度の改革」川野辺裕幸・丸尾直美編著『高齢者福祉サービスの市場化・IT化・人間化』ぎょうせい、2005年1月。

尾形裕也「医療提供体制改革と病院経営の将来ビジョン」西村周三編『医療経営白書2004』日本医療企画、2004年6月。

- *尾形裕也「医療保険制度論」『季刊家計経済研究』No.62、2004年4月。

尾形裕也「医療保険制度改革試論(上)(下)」『社会保険旬報』No.2206、2207、2004年5月。

- *尾形裕也「医療保障における国際比較研究」『海外社会保障研究』No.148、2004年9月。

*尾形裕也「医療機関のガバナンスに関する調査研究(総論)」『医療と社会』14(2)、2004年10月。

尾形裕也「書評：二木立著『医療改革と病院』」『社会福祉研究』第91号、2004年10月。

尾形裕也「医療をめぐる課題と今後の改革の方向」『月刊福祉』2004年12月号。

- *尾形裕也「『医療経営学』序説：課題と展望」『医療と社会』14(3)、2004年12月。

尾形裕也「インタビュー：医療計画の見直しについて」『日経ヘルスケア21』2004年12月号。

尾形裕也「インタビュー：医療計画の見直しと病院経営」『月刊WAM』独立行政法人・福祉医療機構 2005年2月号

- *小椋正立「健康診断の検査結果は将来の医療費の予測にどれくらい有効か」『医療と社会』14(3)、pp.147-173。

小椋正立・鈴木亘「喫煙習慣に関する経済学分析：合理的依存症モデルの再検討(1)」『経済志林』72(3)、pp.127-146、2004年12月。

- *小椋正立・鈴木亘・河村真・角田保「ニコチン代替療法需要のコンジョイント分析」『日本経済研究』Vol.49、2004年、pp.68-81。

小椋正立「禁煙社会づくりに経済学は貢献したか」『経済セミナー』2005年4月号。

河口洋行・開原成允・菅原琢磨・細小路岳史・大西正利・橋口徹・岡村世里奈「公的介護保険導入後の長期入院と介護サービス給付に関する研究(上・下)」『社会保険旬報』No.2232、No.2233、2005。

今野広紀「画像診断機器の近年の動向について」, Monthly IHEP (医療経済研究機構レター) No.127. 2004年12月・2005年1月号。

- *今野広紀「生涯医療費の推計—事後的死亡者の死亡前医療費調整による推計—」『医療経済研究』vol.16、2005年近刊。

*齋藤裕美「混合診療の論点と考察」『一橋論叢』132(6)、2004年、155-176頁。

菅原琢磨(2004)「医療・福祉を支える基盤」『医療・福祉経営管理入門(四訂版)』第3章、39-58頁、国際医療福祉大学出版会。

鈴木亘「介護分野の規制改革—特別養護老人ホームへの株式会社参入全面解禁に伴う市場拡大効果」八代尚宏編『新市場創造への総合戦略—規制改革で産業活性化を』日本経済新聞社、pp.127-135。

- *鈴木亘「終末期医療の患者自己選択に関する実証分析」『医療と社会』14(3)、pp 175-189。
- 鈴木亘「小地域情報を用いたホームレス居住分布に関する実証分析」『季刊・住宅土地経済』54、pp 30-37。
- 鈴木亘「構造改革特区をどのように評価すべきか - プログラム政策評価の計量手法からの考察 - 」『会計検査研究』30、pp 145-157。
- 鈴木亘「急がれるホームレスの健康・医療対策」『ESP』2005年1月号、pp.61-64。
- 鈴木亘・小滝一彦・児玉直美「公的介護保険導入と老後不安感、予備的貯蓄」『家計の金融資産に関する世論調査の個票データを用いた研究会報告書』金融広報中央委員会、pp 177-199。
- 周燕飛・鈴木亘「訪問介護市場における市場集中度と効率性、サービスの質」『日本経済研究』Vol.49、pp 109-123。
- 田近栄治・油井雄二「介護保険：4年間の経験で何がわかったか」『フィナンシャル・レビュー』通巻第72号、2004年、pp. 78-104。
- 田近栄治・菊池 潤「介護保険の総費用と生年別・給付負担比率の推計」『フィナンシャル・レビュー』通巻第74号、2004年、pp. 147-163。
- 田中耕太郎「ドイツにおける疾病金庫の統合再編」『健康保険』2004年9月号・10月号、2004年、pp.47-51、pp.60-65。
- 田中耕太郎「ドイツの年金改革－日本の年金改革の論点との関連を中心に－」日本社会保障法学会編『社会保障法学会 20号』（近刊）
- 鴫田忠彦・細谷圭・林行成・熊本尚雄「レセプトデータによる医療費改定の分析」鴫田忠彦編著『日本の医療改革』第7章所収、137-155頁、東洋経済新報社。
- *知野哲朗「非営利性制約と診療報酬規制：医療サービスの制度経済的分析」『医療と社会』14(3)、2004年。
- *南部鶴彦・菅原琢磨「介護サービス需要における自己負担率の効果：給付管理レセプトによる実証分析」『医療と社会』14(3)、2004、pp191-211。
- *林行成「疾病リスクの多様性と混合診療」『医療と社会』14(3)、pp.127-138。
- *細谷圭「健康資本蓄積とマクロ経済の収束」『医療と社会』14(3) pp.139-146、2004年。
- *細谷圭「人的資本形成と教育政策」『国民経済雑誌』190(3) pp. 1-17、2004年。
- 細谷圭・林行成・今野広紀・鴫田忠彦「医療費格差と診療行為の標準化：腎不全レセプトデータを用いた比較分析」鴫田忠彦編著『日本の医療改革』第5章所収、95-118頁、東洋経済新報社。
- *増原宏明「Finite Mixture モデルを用いた受診行動の比較分析」『医療と社会』14(3)、2004年、pp.35-50。
- *増原宏明「老人保健制度と外来受診 - 健康保険レセプトデータを用いた count data 分析 - 」『季刊社会保障研究』40(3)、2005年。
- *増原宏明・村瀬邦彦「1999年7月老人保健適用者外来薬剤費一部負担無料化の効果」『季刊社会保障研究』40(4)、2005年。
- 増原宏明・今野広紀・比佐章一・鴫田忠彦「医療保険と患者の受診行動 - 国民健康保険と組合健康保険のレセプトによる分析 - 」鴫田忠彦編『日本の医療改革 - レセプトデータによる経済分析 - 』東洋経済新報社、2004年、pp.119-135。
- *八代尚宏・鈴木玲子・鈴木亘「1990年代の医療制度改革の評価」『日本経済研究』49、pp.1-23、

2004年。

*湯田道生「介護事業者密度が介護サービス需要に与える影響」『季刊社会保障研究』2005年、近刊。

3. 学会報告・研究会報告

鴫田忠彦「医療をめぐる世代間の利害調整」日本学術会議シンポジウム、東京、2002年9月6日。

細谷・林・今野・鴫田「ミクロデータに基づく特定疾病に関する分析」日本経済学会、2001年10月。

Hosoya, K., "A Role of Health and Human Capital in Developing Economy," 日本経済学会, 2001年10月。

Hayashi, Y., "Decentralized Regulatory Structure Problem," 2001年度秋季日本経済学会, 2001年10月。

林行成・山田玲良「必需的診療における混合診療禁止制度の効果」日本経済学会, 2002年10月。

田近栄治・菊池潤「管理された競争」による日本の医療保険改革」日本財政学会, 2002年, 秋季。

尾形裕也「日本の医療制度改革」日独社会保障共同研究シンポジウム, ベルリン, 2002。

増原宏明「老人健康保険制度と外来受診 - 組合健康保険レセプトデータによる count data 分析 - 」日本経済学会, 2003年6月。

増原宏明「1997年9月健康保険制度改定と外来受診-組合健康保険レセプトデータによる分析-」日本経済学会, 2003年10月。

Hosoya, K. "Mincerian Approach in Human Capital Growth Model: Theory and Empirics," 日本経済学会, 2002年10月。

今野広紀「生涯医療費の推計 - 国保・健保のレセプトデータによる分析 - 」第3回医療経済学研究会議, 2003。

今野広紀「生涯医療費の推計 - 国保・健保のレセプトデータによる分析 - ~改訂版~」第32回臨床経済学研究会, 2004。

鈴木亘「仮想市場法を用いた公的保険範囲削減の検討」日本経済研究センター行政政策評価研究会, 2003年3月(報告書『国の政策についての評価手法のあり方』所収)。

菅万理・鈴木亘"The Demand for Medical Care in Japan: Evidence from Natural Experiment" 日本経済学会, 2004年6月。

鈴木亘「社会保障制度の総合的改革をめぐる諸論点について」経済産業研究所セミナー, 2004年6月。

鈴木亘「制度改革による医療費縮減効果について」第11回日医総研セミナー「医療費予測：本当のところどうなんだ」, 2003年11月。

八代尚宏、鈴木玲子・鈴木亘"Evaluating Japan's Health Care Reform in the 1990s and Major Issues Coping with the Aging of the Population", NBER-JCER Conference on A Comparative Study on Health Insurance Schemes and the Quality of Medical Care Services Between Japan and the United States, 2003年5月。

小椋正立・鈴木亘・河村真・角田保"Conjoint Analysis to Estimate the Demand for Nicotine

- Replacement Therapy in Japan", NBER-JCER Conference on A Comparative Study on Health Insurance Schemes and the Quality of Medical Care Services Between Japan and the United States , 2003年5月 .
- 周燕飛・鈴木亘“Market Concentration, Efficiency and Quality in Japanese Home Help Industry”, NBER-JCER Conference on A Comparative Study on Health Insurance Schemes and the Quality of Medical Care Services Between Japan and the United States , 2003年5月 .
- 小椋正立・角田保・泉田信行「喫煙・非喫煙選択と外来医療費への効果」日本経済学会 , 2003年6月12日。
- Hiroya Ogata, The Reform of Public Health Insurance, International Workshop on Health Care Reforms, 2002年12月。
- 尾形裕也「日本の医療の将来」第26回日本医学会総会総括シンポジウム 2003年4月。
- 尾形裕也「これからの医療を変革する看護」第8回日本看護サミットシンポジウム基調講演、2003年10月。
- Hiroya Ogata, Japanese Country Report :Health Care System and Health Policy in Japan, ISSA Initiative Symposium Expert Meeting, 2003年11月。
- 田中耕太郎「日本のカントリーレポート」ISSA イニシアティブ日本プロジェクト国際シンポジウム：持続可能な医療保険制度を目指して、2003年。
- 細谷圭「人的資本形成と教育政策」TG 経済学研究会（東北学院大学）2003年。
- 細谷圭「人的資本形成と教育政策」跡見学園女子大学マネジメント学部ワークショップ、2003年。
- 田中耕太郎「ドイツの年金改革－日本の年金改革の論点との関連を中心に－」日本社会保障法学会第45回春季大会、2004年。
- 尾形裕也「医療経営大学院の現状と将来展望」日本病院管理学会・臨床経済学会報告、2004年10月。
- 尾形裕也「医療提供体制の改革と医療計画の見直し」(財)医療経済研究機構・医療経済研究会報告、2004年12月。
- 小椋正立「健康診断の検査結果は将来の医療費の予測にどれくらい有効か」2004年日本経済学会秋季大会。
- 小椋正立・角田保・泉田信行「喫煙・非喫煙選択と外来医療費への効果」2004年日本経済学会春季大会。
- 小椋正立・妹尾涉「高齢化と日本の労働市場」Korean Development Institute 高齢化シンポジウム、2005年3月。
- 金子能宏・鈴木亘「アンケート調査に基づく患者負担と医療給付のあり方に関する予備的考察」第4回医療経済学研究会議、2004年。
- 菅万理・鈴木亘“The Demand for Medical Care in Japan: Evidence from Natural Experiment”、日本経済学会 2004年春季大会。
- 菅万理・鈴木亘「医療消費の集中と持続性に関する考察」日本経済学会 2004年秋季大会。
- 菅原琢磨「レセプト解析からみた介護保険と老人保健の利用関係」医療経営戦略セミナー、国際医療福祉大学、2004年12月。
- 菅原琢磨「介護保険導入の医療機関経営への帰結と今後の展望 - 介護・老健レセプトの解析結果を踏まえて - 」医療保障政策研究会議、商工会館、2005年2月。

鈴木亘「社会保障改革とリバースモーゲージの活用可能性」信託経済研究会、2004年。
鈴木亘・坂東美智子「生活保護における生活再建の現況と街づくりへの効果」社会政策学会
第109会大会、2004年。
鈴木亘「平成14年診療報酬マイナス改定は機能したのか？—整形外科レセプトデータを利用
した医師誘発需要の検証—」(財)医療科学研究所・医療経済研究会、上智大学セミナ
ー、政策研究大学院大学ポリシーモデリングワークショップ、2004年。
鈴木亘「小地域情報を用いたホームレス居住分布に関する実証分析」住宅経済研究会、2004
年。
鈴木亘「総合的社会保障改革を巡る論点整理：サーベイ」(独)経済産業研究所セミナー、
2004年。
鈴木亘「現在の社会保障制度の下に置ける世代間の受益と負担の現状と見通し」社会保障に
関する研究会、財務省財務総合政策研究所、2004年。
林行成「混合診療の禁止と特定療養費制度」医療経済研究会、2004年。
湯田道生「介護サービス市場における供給者誘発需要仮説の検討」2004年度日本経済学会春
季大会。
湯田道生「社会保険未加入者の経済分析」第4回医療経済学研究会議、2004年。

4 . Discussion Papers

知野哲朗「日本の診療報酬制度と私的医療機関」PIE Discussion Paper Series, No.41, October,
2001。
Hosoya, K., “A Role of Health and Human Capital in Developing Economy”, RNP Discussion Paper
Series No. 2001-05, 2001.
Hosoya, K., “Health, Longevity, and the Productivity Slowdown”, PIE Discussion Paper Series No.
25, 2001.
細谷・林・今野・鴫田「医療費格差と診療行為の標準化」RNP Discussion Paper Series No. 2001-03 ,
2001 .
細谷・林・今野・鴫田「ミクロデータに基づく特定疾病に関する分析」PIE Discussion Paper
Series No. 14 , 2001 .
知野哲朗・杉野誠 「高齢者入院医療費の格差とその経済的含意」PIE Discussion Paper Series,
No.100, August, 2002.
知野哲朗「わが国医療機関の構造的特徴：所有権と規制の観点から」Discussion Paper No.50、
岡山大学経済学部、2002年2月。
田近栄治・油井雄二「介護保険導入1年で何が起きたか - 北海道東部3市町村のケース - 」
PIE Discussion Paper Series No.47, 2002.
鴫田・細谷・林・熊本「レセプトデータによる医療費改定の分析」PIE Discussion Paper Series
No.68, 2002.
中泉真樹「社会保険と保険者機能」PIE Discussion Paper Series No.71, 2002.
田近栄治・油井雄二「介護保険導入で何が起きたか - 武蔵野市、国分寺市、横浜市、甲府市
のケース - 」PIE Discussion Paper Series No.132, 2002.
Hosoya, K., “Mincerian Approach in Human Capital Growth Model: Theory and Empirics”, RNP
Discussion Paper Series No. 2001-07 , 2002.

- 斎藤裕美・鶴田忠彦「混合診察の一考察」PIE Discussion Paper Series No.140, 2003.
- 増原宏明・村瀬邦彦「1999年7月老人保険適用者外来薬剤費一部負担撤廃の効果」PIE Discussion Paper Series No.144, 2003.
- 増原宏明「老人保険制度と外来受診 - 組合健康保険レセプトデータによる count data 分析 - 」PIE Discussion Paper Series No.145, 2003.
- 林行成・山田玲良「混合診療禁止制度の経済分析」PIE Discussion Paper Series No.148, 2003.
- Hosoya, K., “Tax Financed Government Health Expenditure and Growth with Capital Deepening Externality,” PIE Discussion Paper Series No.153, 2003.
- 菅原琢磨「介護保険導入後のサービス利用状況と満足度に関する個票分析」PIE Discussion Paper Series No.155, 2003.
- 知野哲朗「開設者別医療機関の市場構造的特徴の形成とその経済的誘引」The Economic Association of Okayama University Discussion Paper Series No.55, 2004.
- 今野広紀「生涯医療費の推計 - 国保・健保のレセプトデータによる分析 - 」PIE Discussion Paper Series No.174, 2003 .
- 鈴木亘「レセプトデータを用いたわが国の医療需要の分析と医療制度改革の効果に関する再検証」日医総研ワーキングペーパーNo.97, 2004年4月.
- 鈴木亘「リバースモーゲージはどの程度期待ができるか」JCER 研究員レポート No.48, 2004 .
- 鈴木亘「レセプトデータを用いたわが国の医療需要の分析と医療制度改革の効果に関する再検証」日医総研ワーキングペーパーNo.97, 2004 .
- Hosoya, K., “The Speed of Convergence in a Two-Sector Growth Model with Health Capital”, PIE Discussion Paper Series No. 245, 2005.
- 細谷圭「健康資本蓄積とマクロ経済の収束」PIE Discussion Paper Series No. 238, 2004 .
- 増原宏明「Finite Mixture モデルを用いた受診行動の比較分析」PIE Discussion Paper No.237, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 2004.

5 . 新聞発表等

- 鶴田忠彦「医療の抜本改善に議論必要」北海道新聞、2001年10月3日。
- 尾形裕也「医療制度改革に関する所見」NHK インターネット・ディベート, 2001年。
- 鶴田忠彦「医療法人制度について」読売新聞、2002年2月1日。
- 鶴田忠彦「私的保険の積極活用を」日本経済新聞(経済教室) 2002年12月25日。
- 尾形裕也「国保保険料徴収問題をめぐって」中日新聞、2003年5月。
- 鈴木亘「ホームレスはなぜそこに住んでいるのか」大阪日日新聞「日本復興」 2003年7月4日。
- 鈴木亘「年金改革 負担増・給付減の終点を保証せよ」大阪日日新聞「日本復興」 2003年5月3日。
- 田近栄治「介護保険改革の方向(上)」日本経済新聞、2004年7月29日。